

わかやま 歴史物語 100

100のストーリーで
大人の知的好奇心を
満たす和歌山の旅



深遠なる 歴史息づく、 寛容の地 和歌山へ

古来より、俗界と隔てられた異界の地として、人知の遠く及ばない「神々の領域」とされてきた紀伊半島。豊かな森林、多くの奇岩・巨石、澄み切った海や川など、圧倒的な自然に対して人々は畏敬の念をもって接し、美しい景観を連綿と受け継いできました。日本に仏教が伝来すると、自然の中に棲まう神と、仏が共にまします神仏習

合の「浄土」の姿を見いだし、人々は和歌山を目指すようになりました。それら世代性別、身分に関係なく、「あまねく人々」を寛容に迎え入れてきた和歌山。高野山や熊野をはじめ、自然景観・温泉・郷土の食、重層的な文化・伝統がひしめく、世界に類を見ない、奇跡の歴史が綴られた和歌山の物語を旅してみませんか。



一枚岩(古座川町)



熊野古道中辺路(田辺市)



熊野本宮大社(田辺市)



奥之院(高野町)



無量寺(串本町)



醤油蔵(湯浅町)



筏下り(北山村)

わかやま歴史物語とは

神話の時代から近代に至るまで、県内各地に点在する歴史を、「100の旅モデル」として紹介する「わかやま歴史物語」。歴史資産だけでなく、歴史にまつわる秘話、インスタ映えスポット、人・文化・食・温泉・体験などを包括し、和歌山をまるごと楽しめるストーリーを特設webサイトで紹介しています。歴史の舞台に実際に足を運び、悠久のロマンを追体験する、壮大でドラマチックな物語が始まります。100のストーリーの中から、特に知的好奇心をくすぐる6つの物語をお届けします。旅のお供にぜひお役立てください。

目次

- ◎天津神御子の試練 神武東征神話！
神武天皇と天磐盾と熊野灘…… P3 ～ 4
- ◎国内最大規模！豪族・紀氏の墓とも
伝えられる「岩橋千塚古墳群」へ！
…………… P5 ～ 6
- ◎「菩提心」を貫き、多くの権力者から
帰依された明恵上人 …………… P7 ～ 8
- ◎“カミソリ大臣”陸奥宗光誕生の
ルーツを探る …………… P9 ～ 10
- ◎「知の巨人」南方熊楠とその研究を支えた
熊野の人々 …………… P11 ～ 12
- ◎城下町新宮に息づく、
世界レベルの「文化のDNA」
…………… P13 ～ 14
- ◎わかやま歴史物語100のストーリー
…………… P15 ～ 18

表紙 重要文化財「道成寺縁起」



元嶋神社(田辺市)



世界遺産
あすかじんじや
阿須賀神社

「熊野神邑」と伝わる地で、新宮発祥の地ともされています。熊野権現は最初に神倉山に降り、その後阿須賀の森に移ったといわれています。創建は紀元前423年で、境内からは弥生時代から古墳時代にかけての住居跡や祭祀遺跡も発見されており、熊野最古の原始信仰形態から権現信仰の発祥と考えられています。平成28年(2016)に世界遺産に追加登録されました。

〒新宮市阿須賀1-2-25 ☎0735-22-3986 境内参拝自由 🅇5台 JR紀勢本線「新宮駅」から徒歩約7分

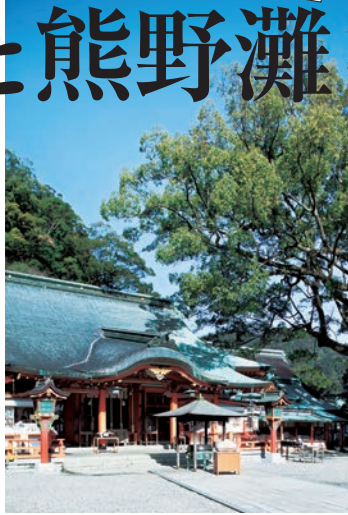


世界遺産
かみくらじんじや
神倉神社

『日本書紀』によれば、神武天皇が紀元前663年に登ったとされている天磐盾が神倉神社のある神倉山だといわれています。神倉神社は現在は熊野速玉大社の摂社として、熊野三社(速玉・那智・本宮)の主神降臨の聖地であり、熊野信仰の原点といえる地とされています。〒新宮市神倉1-13-8 ☎0735-22-2533(熊野速玉大社) 境内参拝自由 🅇20台 JR紀勢本線「新宮駅」からバスで「新宮高校前」下車、徒歩約6分

世界遺産
くまのなちたいしや
熊野那智大社

熊野三山のひとつ。神武天皇が熊野灘から那智の海岸・丹敷浦に上陸した際に、那智の山に光が輝く様を見て那智の大滝を探り当て、大己貴命(おおなむちのみこと)をご神体として祀りました。その守護のもと、八咫鳥(やたがらす)に導かれて無事に大和(現奈良県)へ入ったといわれています。〒東牟婁郡那智勝浦町那智山1 ☎0735-55-0321 7:00~16:30 境内参拝自由 🅇30台 JR紀勢本線「紀伊勝浦駅」からバスで「那智山」下車、徒歩約15分



たけはら
竹原

勝浦名産の生まぐろを満喫。大ぶりに切った「下駄の歯造り」の刺身や竜田揚げのほか、新鮮だからこそ味わる内臓料理も充実。名物まぐろ定食(1,620円)がおすすめ! 〒東牟婁郡那智勝浦町築地4-3-23 ☎0735-52-1134 11:00~14:00 17:00~21:00 不定休 🅇7台 JR紀勢本線「紀伊勝浦駅」から徒歩約2分



立ち寄り

道の駅なち

農産物直売所や、日帰り温泉「丹敷の湯」、熊野・那智の文化や歴史を学べる「熊野那智世界遺産情報センター」などを備えた道の駅。〒東牟婁郡那智勝浦町浜ノ宮361-2 ☎0735-52-9201(那智駅交流センター) 営業時間・休館日は施設により異なる 🅇58台 JR紀勢本線「那智駅」から徒歩すぐ



秘話

熊野三山のシンボル、八咫鳥の足が3本の理由

神武東征の時に、天照大神(あまてらすおおみかみ)が八咫鳥を遣わし、神武天皇を大和の橿原まで案内したため、導きの神といわれており、熊野三山では八咫鳥を「神々の使い」として厚く信仰しています。3本の足は、それぞれ天・地・人(朝日・昼の光・夕日とも)を表し、宇宙創造とも関係があるとされています。



フォトジェニック

いっぱいの神倉神社

Wakayama-Rekishigram



#神倉神社



モデルコース (全行程で約7時間)

起点 紀勢自動車道 すさみ南IC

↓🚗 車で約90分

①熊野那智大社 見学約30分

↓🚶 徒歩で約15分

②那智の大滝 見学約15分

↓🚗 車で約20分

③竹原 食事約1時間

↓🚗 車で約10分

④道の駅なち 買物約20分

🚗 車で約1分

⑤神武天皇頓宮跡 見学約10分

↓🚗 車で約15分

⑥神倉神社 見学約30分

↓🚗 車で約5分

⑦渡御前社 見学約10分

↓🚗 車で約10分

⑧阿須賀神社 見学約30分

↓🚗 車で約90分

終点 紀勢自動車道 すさみ南IC

神武天皇による日本建国の経緯を壮大なスケールで描いた、「日本最古の英雄譚」である「神武東征神話」。これは「旅立」↓「試練」↓「成就」という神話における共通的なストーリー構造を持っています。和歌山が舞台になっているのは、「試練」の物語。神武天皇は東大阪の孔舎衛坂(くさえさか)で敗戦した後、兄神たちを失いながらも軍を南へ進め、潮岬を越えて紀伊半島の東側へ向かい熊野に上陸します。熊野では軍を率いて狭野(さの)を越え、熊野神邑(みわのむら)に着き、天磐盾(あまのいわたて)に登ったとされています。この狭野と

は現在の新宮市佐野、神邑は阿須賀神社あたり、天磐盾は神倉神社のある神倉山といわれています。その後、神武天皇は熊野の丹敷浦(にしきのうら)で丹敷戸畔(にしきとべ)という者を討伐しますが、その場所は境内に神武天皇頓宮跡の碑が建つ熊野三所大神社(くまのさんしよおおみややしろ)あたりとされています。熊野那智大社もまた東征神話に絡む創建経緯があるとされ、そのシンボル、八咫鳥は道案内を務め神武天皇を助けました。神武東征にまつわる場所を巡り、今なお語られる神話のロマンに思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

じんむてんのうとんぐうあと
神武天皇頓宮跡

かつての丹敷浦にあたることとされ、境内の森、渚の森には神武天皇頓宮跡の石碑があります。神武天皇はここで丹敷戸畔という者を討伐しました。熊野三所大神社の本殿の右隣には丹敷戸畔神社の石碑があります。〒東牟婁郡那智勝浦町浜ノ宮348 ☎0735-52-2523(補陀洛山寺) 8:30~16:00 境内参拝自由 🅇あり JR紀勢本線「那智駅」から徒歩約3分

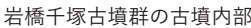


世界遺産
なちのおおたき
那智の大滝

落差は133m、日本一を誇る滝で「一の滝」とも呼ばれ、日本三大名瀑のひとつにもあげられています。滝自体への信仰があり、飛瀧(ひろう)神社のご神体として、古くから多くの人々が参詣に訪れています。〒東牟婁郡那智勝浦町那智山/ ☎0735-55-0321(熊野那智大社) 7:00~16:30 お瀧拝所舞台参入料=300円。🅇なし JR紀勢本線「紀伊勝浦駅」からバスで「那智の滝前」下車、徒歩約5分



神武東征に関する他のストーリー(001)はwebで

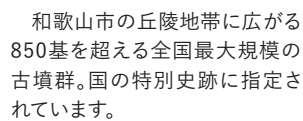


い、石室の中に石棚を設けるなど近畿地方では珍しい特徴的な部分が数多く残されています。これらの構造から、墳丘を作る高度な技術を持っていたと考えられています。さらに、岩橋千塚古墳群周辺では、朝鮮半島製と思われる土器などが出土し、紀の川河口部に花開いた国際色豊かな古墳文化は、紀氏一族の朝鮮半島などとの交流によってもたらされたものではないかと考えられています。また、日前宮など紀氏とゆかりの深い神社もあるので、神話に包まれた和歌山で、古代文化と出会う旅を楽しんでみてください。

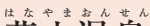
これがすべて
古墳!



全国的に
珍しい埴輪が
いっぱい

なるたきいせき
噴油時

紀氏が造ったと考えられる巨大倉庫群。何が収められていたかは不明ですが、朝鮮半島が起源の須恵器のかけらが見つかっており、半島文化を取り入れるほど活躍していた豪族だったことを物語っています。「紀伊風土記の丘」では、往時の様子を復元した模型の展示が見られます。**所**和歌山市善明寺516 **☎**073-435-1234 (和歌山市観光課) 散策自由(模型は「紀伊風土記の丘」) **P**なし JR阪和線「和歌山駅」からバスで「近畿大学付属和歌山高校前」下車すぐ



2016年4月オープン。名物は熱したスキレットにのせられた、ドイツ生まれのダッチパンケーキ(650円〜)。外はバリバリ、中はモチモチの食感がクセになる一品です。ポリウム満点のランチ(1,080円〜)も人気。☎和歌山市弘西1126-1 ☎073-462-2332 11:00〜17:00 不定休 📍12台 JR阪和線・和歌山駅 からバスで「紀伊小学校前」下車、徒歩約8分

岩橋千塚古墳群は、宮崎県西都原(さいとばる)古墳群と並び、群集墳として日本で2ヶ所しかない国宝級の貴重な古墳群です。特別史跡には「平城宮跡」「姫路城跡」「厳島」などが指定されており、それらと並び貴重な史跡です。ハイキングコースもあるので、古代ロマン溢れる道を歩いてみては。



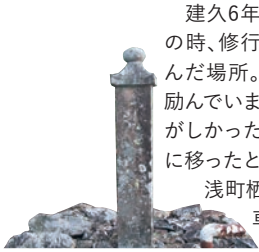
終点 阪和道 和歌山北IC

ひがししらかみいせき
東白上遺跡



少しでも釈迦に近づきたいという思いから、自らの右耳を切った場所とされています。その翌日、眼前に文殊菩薩が現れ、修行が間違っていないと確信したとされています。**📍**有田郡湯浅町栖原 阪和道「有田IC」から車で徒歩で約25分

にししらかみいせき
西白上遺跡



建久6年(1195)、明恵上人が23歳の時、修行のために初めて草庵を結んだ場所。一心不乱に厳しい修行に励んでいましたが、波音や漁の音が騒がしかったため、しばらくして東白上に移ったとされています。**📍**有田郡湯浅町栖原 阪和道「有田IC」から車で徒歩で約25分

いかだちいせき
筏立遺跡



建久9年(1198)に、白上峰から移り、明恵上人が草庵を建てた場所。華嚴経の教えを身に付けるため修行し、『唯心観行式』や『隨意別願文』などを著しました。**📍**有田郡有田川町歎喜寺 阪和道「有田IC」から車で徒歩で約20分

かんぎじ
歎喜寺



明恵上人生誕地の近くに建つゆかりの寺。寛和2年(986)、恵心僧都が開基、建長元年(1249)に明恵の高弟喜海が再興し、歎喜寺を建てたと伝わります。宝物殿には重要文化財2点の他、伝明恵上人坐像や明恵所用と伝わる礼盤などがあります。見学には事前予約が必要です。**📍**有田郡有田川町歎喜寺 159 ☎0737-32-3425 境内拝観自由 宝物殿拝観料=300円 **🅐**あり 阪和道「有田IC」から車で約13分

じょうきやうじ
浄教寺

仏涅槃図



文明4年(1472)、明秀上人が再興。和歌山県指定文化財の十六羅漢像(現在修復中)など、明恵上人ゆかりの寺である最勝寺から伝来した寺宝が残り、特に鎌倉時代初期作とされる仏涅槃図は明恵の意向が反映されたと伝わっています。重要文化財指定の寺宝は春秋彼岸中日13～15時に公開(それ以外も事前予約で見学可)。**📍**有田郡有田川町長田542 ☎0737-52-2469 境内拝観自由 **🅐**あり 阪和道「有田IC」から車で約10分



有田川にかかる明恵大橋に置かれた明恵上人像。対岸には明恵が終生大切にしていたという犬の像があります。小動物を自分の生まれ変わりのように思い、慈しんだと伝わります。



かるともじま
苺藻島

毛無島と呼ばれる小島の奥にある、2つからなる島。明恵が修行のために訪れた島で、仏陀生誕のインドの方角を向いた明恵の石像が残っています。また後年、この島を愛してやまなかった明恵は、苺藻島に宛て「島殿へ」「その後、お変わりございませんか」という恋文のような手紙を、弟子に島まで届けさせたといわれています。**📍**有田郡湯浅町



「菩提心」を貫き、多くの権力者から帰依された明恵上人

かとうきやう
明恵峡

明恵上人が修行をした場所になんで名付けられた有田川町指定の名勝。川幅の細い有田川と、切り立った岩肌からなる峡谷が、美しくも激しい自然の偉大さを表現しています。長い間姿を変えない神秘的な姿は、まさに明恵の思いを映す自然のアーカイブ。桜の時期はもちろん、周囲を取り囲む深い山々との対比も壮観そのものです。

📍有田郡有田川町修理川

秘話

生涯不犯を貫いたが意中の女性がいた!?

明恵上人は厳しい戒律を保ち、生涯女性と交わらない不犯の高僧として知られています。しかし「誘惑に負け、淫らなことを犯そうとしたが、不思議にいつも妨害が入って我に返り、ついに果たすことができなかった」と述べていることから、意中の女性がいたとされ、その人物は、一説では湯浅宗光の妻、糸野御前だったといわれています。



西白上遺跡から見た栖原海岸の大パノラマ



#栖原海岸 **📍**有田郡湯浅町栖原



モデルコース (全行程で約6時間)

- 📍**起点 阪和道 有田IC
↓🚗 車で約10分
①浄教寺 見学約30分
↓🚗 車で約10分
②道の駅明恵ふるさと館 買物約20分
↓🚗 車で約1分
③歎喜寺 見学約30分
↓🚗 車で約10分
④筏立遺跡 見学約10分
↓🚗 車で約10分
⑤かなや明恵峡温泉 食事&温泉約1時間半
↓🚗 車で約1分

- ⑥**明恵峡 見学約10分
↓🚗 車で約25分
⑦施無畏寺 見学約20分
↓🚶 徒歩すぐ
⑧苺藻島(遠景) 見学約10分
↓🚶 徒歩で約10分
⑨西白上遺跡 見学約10分
↓🚶 徒歩で約10分
⑩東白上遺跡 見学約10分
↓🚶 徒歩と🚗 車で約25分
📍終点 阪和道 有田IC

道の駅 明恵ふるさと館

野菜や果物など、地元の味覚が集まる道の駅。国産小麦と天然酵母を使った焼き立てパンも多彩で、胡桃パン(大360円)が人気。**📍**有田郡有田川町金屋322-1 ☎0737-32-9778 9:30～18:00(12～2月は～17:30) 年末年始休(パンは月・火曜休) **🅐**20台 阪和道「有田IC」から車で約15分

立ち寄り

かなや明恵峡温泉

明恵峡を見下ろす日帰り温泉。館内では、紀州の茶粥やしらす丼など、和歌山の食も味わえます。**📍**有田郡有田川町修理川81-3 ☎0737-32-5526 11:00～21:00(最終受付20:30) 第2金曜休 入浴料=600円 **🅐**150台 阪和道「有田IC」から車で約15分



承安3年(1173)、現在の有田川町歎喜寺で生まれた明恵上人。9歳で両親と死別後、京都の神護寺で仏門に入り16歳で出家。若くから仏教本来の教えである「菩提心」を大切に修行に励んだといわれています。34歳の時には後鳥羽上皇から京都・梶尾の地を授かり高山寺を創建。後鳥羽上皇など多くの権力者から帰依されました。また、少しでも釈迦に近づこうと右耳を切断したり、インドへの渡航を計画するなど、幼い頃から釈迦を親のように慕い、専修念仏(南無阿弥陀仏と唱えれば救われる。菩提心は必要ない)と説いた法然を、著書『摧邪輪』(さいじやりん)

で批判したことで知られています。何よりも「菩提心」を重んじ、純粹に仏の道を究めようとした明恵上人は、宗派の違う天台座主良快が「当世は明恵上人のごときを聖人と言うべし」と述べたことから、いかに高僧だったかを伺わせます。生誕地の有田川町と隣の湯浅町は、23、34歳の間、京都と故郷とを行き来しながら修行を積んだ場所でもあります。各地に点在する「明恵上人紀州遺跡」として残るほか、釈迦に思いを募らせた島や、ゆかりの寺宝が残る寺などがあります。各所を巡れば、明恵上人の仏教や釈迦に対する想いを身近に感じられるかも知れません。

施無畏寺

寛喜3年(1231)、当時栖原(すはら)を支配していた明恵上人の従兄弟・藤原景基が、土地を献上して創建。創建時には明恵自ら開眼供養をしたといわれています。寺には木造の明恵上人坐像が伝わっており、弟子が彫った最初の像は火事で焼失、現在は江戸初期の仏師により作られた像が安置されています。**📍**有田郡湯浅町栖原1465 ☎0737-62-2353 境内拝観自由 **🅐**5台 阪和道「有田IC」から車で約10分





わかやま歴史館

2階に「和歌山城の歴史文化」と「わかやま人物探訪」の歴史展示室があり、陸奥宗光や、南方熊楠、松下幸之助など、各分野の発展に貢献した人物を紹介しています。1階には観光案内所なども併設。☎和歌山市一番丁3 ☎073-435-1044(3F和歌山城整備企画課) 2F歴史展示室9:00～17:30(入場は～17:00) 年末年始休 入館料=100円 📍58台(和歌山公園駐車場利用) JR阪和線「和歌山駅」からバスで「市役所前」下車すぐ



紀州藩士で国学者でもある伊達宗広の6男として生まれた陸奥宗光。幼少時を和歌山城下で過ごすも、父・宗広が藩内の抗争に敗れ失脚、そして脱藩。15歳で江戸に出て尊王攘夷運動に参加、その後、勝海舟の海軍塾に入塾、慶応3年(1867)には坂本龍馬の海援隊に入るなど、さまざまな人物との交流を深めていきました。明治維新後、紀州藩14代藩主徳川茂承(もちつぐ)に信頼され、津田出(つだいずる)と共に藩政改革に邁進しました。国政に進出し農商務大臣を務めた後、第二次伊藤博文内閣で外務大臣となり、江戸時代に結ばれた不平等条約、治外法権の撤廃や日清戦争の講和条約(下関条約)を結ぶなどの偉業を成し遂げます。人は「頭の切れる者」という意味を込めて「カミソリ大臣」と呼んだといわれています。上司であっても自分が認めた者以外の命令を無視し、辞表をた

たきつけたという逸話も残っています。逆に自分が認めた人物にはその才能を惜しみなく発揮しました。そこから「使い手(上司)」の技量が問われ、使い方を間違えるとケガをする」という意味も「カミソリ」に込められていたとか。陸奥宗光の生誕の地へ、その功績の原点を訪ねてみてはいかがでしょうか。

「カミソリ大臣」陸奥宗光誕生のルーツを探る



陸奥宗光生誕地跡

2017年、陸奥宗光の没後120年という節目の年に設置された生誕地碑。「陸奥宗光伯生誕地」と刻まれた石碑と案内看板が立てられています。☎和歌山市吹上3-2 JR阪和線「和歌山駅」からバスで「小松原5丁目」下車すぐ

陸奥宗光像

和歌山城近く、岡公園にある銅像。歴代外務大臣で唯一、外務省敷地内に建立されているスーツ姿の像と違い、和装姿のこちらはプライベートな姿とされています。☎和歌山市岡山丁3 JR阪和線「和歌山駅」からバスで「岡山町」下車すぐ



郭家住宅

明治10年(1877)、代々紀州藩の御典医だった郭家の7代目百輔が建設した「コロニアルスタイル」の洋風建築。陸奥宗光の生家である伊達家から移築した可能性があるといわれる奥座敷には、貴重な煎茶座敷が残るなど、建築物としても見どころが多数あります。☎和歌山市今福1-6-6 ☎073-435-1234(和歌山市観光課) 毎月1回公開日あり(詳細要問い合わせ) 📍なし JR阪和線「和歌山駅」からバスで「堀止」下車、徒歩約5分

岡崎邦輔の像

陸奥宗光の従弟で、後身としても活躍した岡崎邦輔。政界の寝業師の異名を持ち、実業家としても活躍しました。渋沢栄一らとともに京阪電気鉄道の設立に携わり、大正6年(1917)には社長に就任、阪和電気鉄道(現・JR西日本阪和線)の設立に尽力しました。☎和歌山市南材木町3-1 JR阪和線「和歌山駅」からバスで「三木町新通」下車すぐ



純喫茶リエール

奠供山(てんぐやま)のそばに佇むレトロな風情漂うカフェ。岡崎邦輔の別荘だった明治時代の木造建築の一部を改装したノスタルジックな空間で、優雅なティータイムを過ごせます。☎和歌山市和歌浦中3-5-5 ☎073-499-8698 10:00～17:00(土・日・祝は9:00～) 火曜休 📍20台 JR阪和線「和歌山駅」からバスで「曙橋」下車すぐ



岡崎邦輔の邸宅でいただくごちそうワッフル

#純喫茶リエール

モデルコース (全行程で約6時間)

起点 阪和道 和歌山IC

↓🚗車で約15分

①陸奥宗光像 見学約10分

↓🚗車で約5分

②わかやま歴史館 見学約30分

↓🚗車で約5分

③陸奥宗光生誕地跡 見学約10分

↓🚗車で約2分

④郭家住宅 見学約10分

↗🚗車で約15分

⑤和歌浦温泉 萬波

食事&温泉約2時間半

↓🚗車で約4分

⑥純喫茶リエール 休憩約1時間

↓🚶徒歩すぐ

⑦鷹屋製菓 買物約10分

↓🚗車で約20分

⑧岡崎邦輔の像 見学約10分

↓🚗車で約10分

終点 阪和道 和歌山北IC

鷹屋製菓

昭和40年(1965)創業。名物、和歌浦せんべい(23枚箱入り399円)は、工房併設で、一つひとつ手作業で作られています。不老橋など近隣の名所が描かれた焼印が施された素朴な味わいで幅広い年代から支持されています。☎和歌山市和歌浦南2-8-1 ☎073-448-1617 8:00～18:00 水曜休 📍3台 JR阪和線「和歌山駅」からバスで「曙橋」下車すぐ



和歌浦温泉 萬波

和歌浦一望の温泉と、雑賀崎港などから買い付けた新鮮な魚介が味わえるレストランなどを備えた温泉旅館。日帰りプランも充実しているので、旅の合間に、リゾート気分に入れます。☎和歌山市新和歌浦2-10 ☎073-444-1161 11:00～15:00(日帰り入浴) 不定休 入浴料=1,512円 📍50台 JR阪和線「和歌山駅」からバスで「新和歌遊園」下車すぐ



秘話

「陸奥」という名に見る、宗光の気概とは？

「陸奥宗光」が本名と思われがちですが、実は本名は伊達宗光といいます。「陸奥」という名字を名乗ることになったのは、宗光の意向によるものだそうで、伊達が陸奥の国の一部の地名であるため、一郡よりも一国の名を名乗ることで志を大きく持とうという、幕末～明治期の気風を表していたのかもしれません。



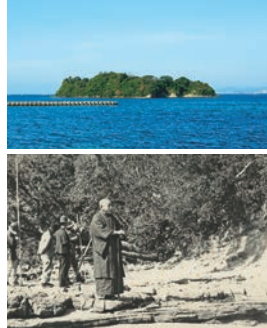


世界遺産
闘雞神社
 熊野三山の別宮として熊野信仰の一翼を担う古社。熊楠は宮司の田村宗造の四女・松枝と結婚。社殿背後の仮庵(かりお)山をクラグリ山と呼び、密林広がるこの山を「熊野植物研究の中心基礎点」に据えました。山中の老楠が伐採された際には熊楠が猛烈な抗議をしたと記録が残されており、それ以上の伐採は中止されたといわれています。**所** 田辺市東陽1-1 **☎** 0739-22-0155 境内参拝自由(社務所は8:30～17:30) **P** 80台(有料) JR紀勢本線「紀伊田辺駅」から徒歩約6分

熊野三所神社
 熊野三所(本宮・速玉・那智)を祀る神社。白良浜の海沿いに位置し、拝殿の背後には「御船山」が社叢として広がります。海・山・森が近く、熊楠は白浜滞在の際は、頻繁に採集に訪れたといえます。**所** 西牟婁郡白浜町744 **☎** 0739-43-0558 境内参拝自由 **P** あり JR紀勢本線「白浜駅」からバスで「白浜バスセンター」下車すぐ



神島
 田辺湾に浮かぶ2つの小島。島を覆う照葉樹林には神が宿るとされ、古くから信仰の対象とされてきました。熊楠が保全運動に動いたことでも知られ、現在は国の天然記念物、名勝。昭和4年(1929)の昭和天皇行幸の際には、熊楠が島の案内役を務めました。森林保全のため上陸禁止で、鳥ノ巣半島や南方熊楠記念館屋上から眺めることができます。



「知の巨人」南方熊楠とその研究を支えた熊野の人々

昭和天皇への御進講の際、動植物の標本をキャラメル空き箱に入れてご覧に入れたという逸話は有名。



シームーン

田辺で30年以上愛される老舗イタリアン。演中シェフによる趣向を凝らした料理が楽しめます。パスタランチセット(ドリンク、デザート付き、1,400円)は、4種類のパスタから選べます。**所** 田辺市東山1-5-9 **☎** 0739-22-8001 11:30～14:00(LO) 17:30～21:00 木曜&第3水曜休 **P** 5台 JR紀勢本線「紀伊田辺駅」から徒歩約10分

立ち寄り

ララ・ロカレ

元警察署だった洋館を改装したカフェ&レストラン。国産小麦と天然海洋酵母で作ったパンも人気で、熊楠の好物にちなんだ「くまぐすあんぱん」は全6種(1個162円)。紀州梅餡、コーヒー館など味も多彩。**所** 田辺市上屋敷2-6-7 **☎** 0739-34-2146 9:00～18:00 火曜休 **P** 21台 JR紀勢本線「紀伊田辺駅」から徒歩約12分

南方熊楠旧邸・南方熊楠顕彰館
 熊楠が晩年の25年間を過ごした旧邸。この庭で新属新種の変形菌を発見するなど、熊楠にとっては居住・研究のための大切な空間でした。隣接地の顕彰館には25,000点以上の熊楠関連の資料を収蔵、展示パネルなどで偉業が紹介されています。**所** 田辺市中屋敷町36 **☎** 0739-26-9909 10:00～17:00(最終入館は16:30) 月曜&第2・4火曜&祝日の翌日休 入館料=300円 **P** 12台 JR紀勢本線「紀伊田辺駅」から徒歩約10分



高山寺
 隣接地にあった「糸田の猿神社(さるがみのやしる)」の境内で多くの隠花植物を採集していましたが、神社合祀令により神木は伐採され、彼が神社合祀反対運動に立ち上がるきっかけとなった場所です。境内の墓地には熊楠の墓もあります。**所** 田辺市稲成町392 **☎** 0739-22-0274 境内拝観自由 **P** 30台 JR紀勢本線「紀伊田辺駅」からバスで「高雄中学校」下車、徒歩約9分



秘話

熊野三所神社の「御座船」

生物学者でもあった昭和天皇は、変形菌などの観察のため田辺湾に行幸されました。熊楠は御召艦長門(ながと)の船上で約25分間、変形菌や田辺付近産の動植物について進講し、変形菌標本110点などを献上しました。陛下は木製の舟に乗り神島や、四双島、塔の島などを巡られ、その船は「御座船」として白浜にある熊野三所神社に納められています。

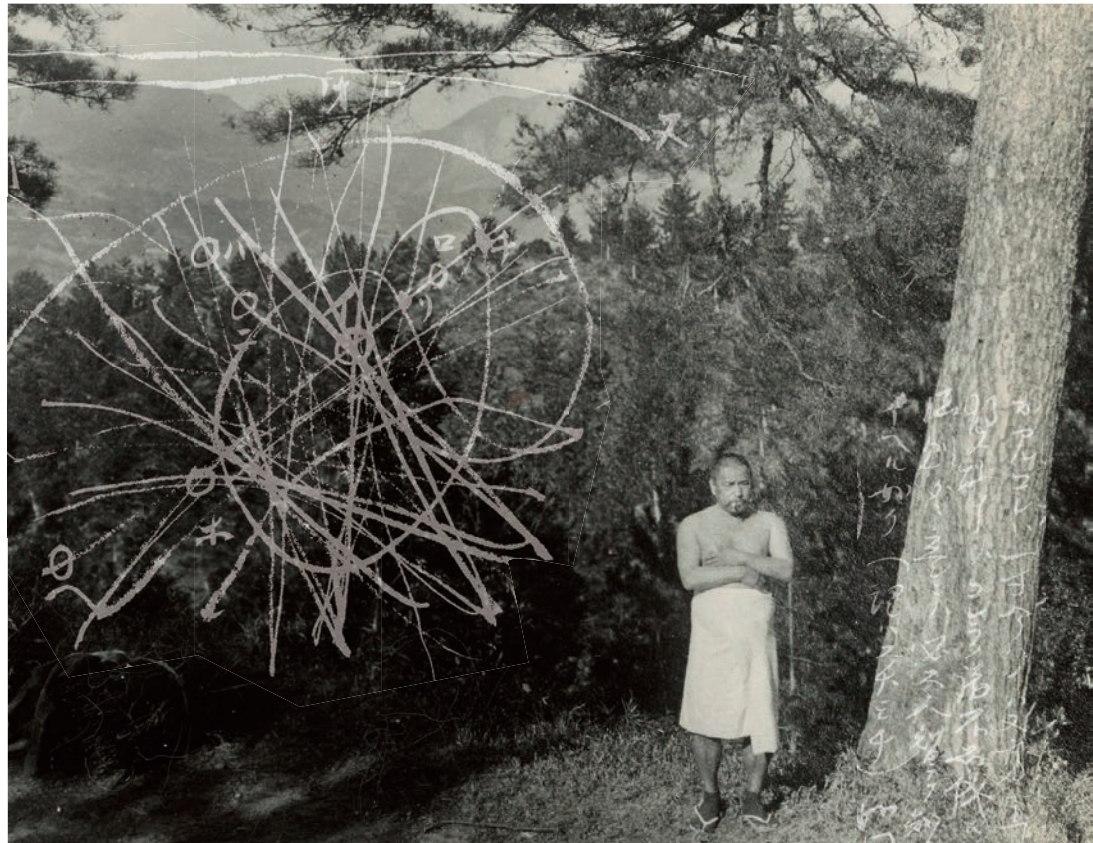
Wakayama-Rekishigram

天神崎はウユニ塩湖のような光景?

#天神崎 **所** 田辺市天神崎 JR紀勢本線「紀伊田辺駅」からバスで「明洋前」下車、徒歩約15分

人並み外れた記憶力に、およそ10カ国に通じる語学力。生物学のみならず、民俗学や、宗教学など多くの分野で大きな功績を遺した「知の巨人」南方熊楠。和歌山市出身で、若い頃から海外へと飛び出し、アメリカやイギリスで知見を広めた彼は、明治37年(1904)に田辺に移住します。そして後半生の37年間で、

植物の宝庫といわれたこの地で過ごすこととなります。田辺に来た当初、彼は仲間たちと連日のように飲み歩いていました。そんな状況を見かねた友人・喜多福武三郎は、闘雞神社の宮司・田村宗造の四女を熊楠に紹介します。これが後に妻となる松枝で、熊楠は松枝との間に一男一女をもうけました。特に娘の文枝は、



「熊楠林中裸像」(南方熊楠顕彰館所蔵)は、森林伐採への反対の意思表示のために撮影されました。背景の線と文字は土宜法龍に宛てた手紙に記された、熊楠の仏教的世界感を表した通称「南方マンダラ」。

松枝とともに晩年の熊楠を助け、植物採集や『菌類図譜』の作製などを手伝ったとされています。また、神社合祀の反対活動を行うなど、現在の自然保護活動の先駆者としても知られている熊楠。実はこの活動の背景にも、彼に共鳴した多くの田辺の人々の助力があったことを忘れてはいけません。それら研究を経て、昭和天皇が南紀への行幸の際には動植物の標本の入ったキャラメルの大箱を献上し、大変喜ばれ、のちに熊楠を詠んだ和歌も残されています。知らぬ間に人を惹きつける、そんな魅力に満ちた人となりが見えてきそうです。



熊楠を偲んで、昭和天皇は「雨にけふる神島を見て 紀伊の国の生みし南方熊楠を思ふ」と和歌を残されています。

南方熊楠記念館

生涯にわたり膨大な書き物を残した熊楠。その写本や草稿類、身の回りの品から、収集していた菌類の標本などが展示されています。館内には生きた粘菌も展示され、顕微鏡を覗いて実際に見ることもできます。**所** 西牟婁郡白浜町3601-1 **☎** 0739-42-2872 9:00～17:00(最終入館16:30) 木曜&6/28～30、12/29～1/1休(7/20～8/31は無休) 入館料=500円 **P** 30台 JR紀勢本線「白浜駅」からバスで「臨海」下車、徒歩約8分



南方熊楠に関する他のストーリー(013,066)はwebで

モデルコース (全行程で約5時間)

起点 阪和道 南紀田辺IC

↓ 車 車で約15分

①神島(遠景) 見学約10分

↓ 車 車で約15分

②南方熊楠記念館 見学約40分

↓ 車 車で約5分

③熊野三所神社 見学約15分

↓ 車 車で約30分

④シームーン 食事約1時間

↓ 車 車で約5分

⑤闘雞神社 見学約20分

↓ 車 車で約5分

⑥南方熊楠旧邸・南方熊楠顕彰館 見学約30分

↓ 車 車で約5分

⑦ララ・ロカレ 買物約20分

↓ 車 車で約5分

⑧高山寺 見学約15分

↓ 車 車で約10分

終点 阪和道 南紀田辺IC



本廣寺

熊野で勢力を誇った土豪、周防守行栄の屋敷跡。境内の「書写妙法蓮華経印塔」は、新宮水野家の家臣の家に生まれ、京都で茶道を学び江戸千家流の祖となった、茶人の川上 不白が先祖供養のため寛政9年(1797)に建立したものです。**所** 新宮市新宮 656 **☎** 0735-22-2801 境内拝観自由 **P** 16台 JR紀勢本線「新宮駅」から徒歩約8分



中上健次資料収集室

新宮に生まれ、熊野を舞台とする名作を残した中上健次に関する資料を収集・保存。中上の生誕の地や、小説の舞台となった新宮市内のスポットなどを紹介する「中上健次文学地図」の配布も行っています。**所** 新宮市井の沢4-15 新宮市立図書館3F **☎** 0735-22-2284 (新宮市立図書館) 9:00～17:30 (日曜は～16:30) 月曜&祝日&毎月末日&図書館特別整理期間&年末年始休 入館無料 **P** 9台 JR紀勢本線「新宮駅」から徒歩約8分



Nakagami Kenji

ど、個性的な表現者を多く生み出してきました。文学の香りを感じながら、ゆかりの地をのんびり散策する道中には、外国映画のような佇まいが目を引く旧西村家住宅(西村記念館)へも足を運びたいところ。設計したのは日本人の生活近代化を推進したモダニスト、西村伊作。館内に設置された家具のデザインも、100年前のものとは思えない斬新さです。表現者たる彼らの、新しいものを追及するエネルギーは、一体どこから湧いてきたのか。新宮城跡からの雄大な熊野灘や、文化薫る新宮のまちを眺めれば謎がとけるかもしれません。

旧西村家住宅(西村記念館)

西村伊作は、建築家、画家、陶芸家、詩人、生活文化研究家、作家、教育者などマルチな才能を発揮した人物です。自身が設計し大正3年(1914)に竣工した邸宅は保存され、西村記念館となっています。館内には絵画や陶器など伊作の手がけた作品も展示されています。国指定重要文化財。2018年度は休館(2019年春頃再公開予定)。**所** 新宮市新宮 7657 **☎** 0735-22-6570 9:00～17:00 月曜休(祝日の場合は翌日休) **P** なし JR紀勢本線「新宮駅」から徒歩約6分



Nishimura Isaku



新宮市は熊野速玉大社の門前として古くから栄え、さらには杉や檜など熊野材の集散地としても隆盛を極めました。最盛期には江戸への入荷材の約2割を占めたというほど林業の恩恵を受けました。また、この地を治めた紀州藩付家老の水野氏は江戸定府の役職に就き、江戸と深い関わりを持つようになり、海と山に囲まれた豊かな土壌の上に、他所からもたらされた文化が成熟したことで、多くの文人墨客を輩出することになりました。『秋刀魚の歌』や『望郷五月歌』などで知られる佐藤春夫、「鳩ぽっぽ」など多くの童謡を手掛けた東くめ、『岬』で第74回芥川賞受賞の中上健次な

東くめ歌碑

明治10年(1877)に新宮で生まれた東くめは、後輩の滝廉太郎とのコンビで「お正月」や「雪やこんこ」などの童謡を手がけた作家です。もとは音楽教師でしたが、幼児教育の先駆者だった夫の東基吉の影響で、童謡を手がけるようになったといわれています。新宮駅前広場には代表作のひとつ、「鳩ぽっぽ」の歌碑があります。**所** 新宮市徐福2-1-1 **☎** 0735-22-2840(新宮市観光協会) 見学自由 **P** なし JR紀勢本線「新宮駅」から徒歩すぐ



Higashi Kume

城下町新宮に息づく、世界レベルの「文化のDNA」

新宮城跡

紀州藩付家老水野氏の居城として寛永10年(1633)に完成。元は源為義の娘丹鶴(たんかく)姫の住まいであったことから「丹鶴城」とも呼ばれています。城跡からは城下町や熊野川を一望でき、城郭に残る港の跡からも新宮の繁栄が伺えます。江戸千家流の祖・川上 不白を顕彰した石碑も建っています。**所** 新宮市新宮 7691-1 **☎** 0735-22-2840(新宮市観光協会) 見学自由 **P** 15台 JR紀勢本線「新宮駅」から徒歩約10分



鹿六

佐藤春夫ら新宮の名士を魅了してきた、一世紀以上続く老舗の鰻料理店。国産鰻を背開きし、備長炭で地焼きした鰻は、身ふっくらで皮パリパリ。タレは創業以来継ぎ足され味を守っています。**所** 新宮市元鍛冶町2-3-5 **☎** 0735-22-2035 11:00～15:00 17:00～21:00 月曜休 **P** あり JR紀勢本線「新宮駅」から徒歩約14分



Sato Haruo

佐藤春夫記念館

佐藤春夫が昭和2年(1927)に建てたこだわりの邸宅を、東京から故郷の新宮に移築し公開。西村伊作の弟が設計した洋館で、応接間やサンルームなどに暮らしぶりが窺えます。書斎のほか自作詩歌の書、佐藤が描いた絵画、初版本などが展示されています。**所** 新宮市新宮1 **☎** 0735-21-1755 9:00～17:00(最終入館は16:30) 月曜休 入館料=310円 **P** 6台 JR紀勢本線「新宮駅」からバスで「権現前」下車、徒歩約5分



秘話

和菓子の街、新宮

江戸時代に活躍した茶道家で、江戸千家流の祖である川上 不白は、茶に添えて出す菓子文化を新宮に根づかせました。新宮は不白の出身地ということもあり、「利休の再来」と謳われた茶人ゆかりの地に和菓子店が多いのも納得です。新宮では毎年、不白を偲ぶ茶会が催されています。



Wakayama-Rekishigram

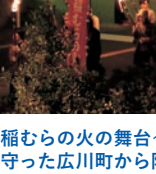


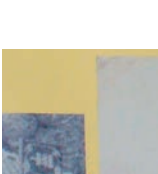
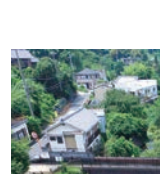
フランス料理店にある
精巧な新宮城のジオラマ

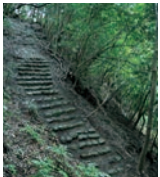
#イルド・フランス **所** 新宮市新宮 7697 **☎** 0735-22-2365 11:30～13:30 17:30～20:00 不定休 **P** なし JR紀勢本線「新宮駅」から徒歩約10分

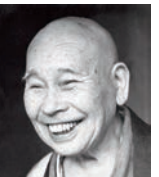
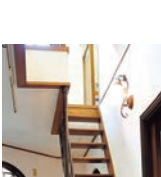
モデルコース(全行程で約6時間)

起点 JR新宮駅 ↓ 徒歩すぐ ①東くめ歌碑 見学約5分 ↓ 徒歩10分 ②旧西村家住宅(西村記念館) 見学約40分 ↓ 徒歩10分 ③新宮城跡 見学約40分 ↓ 徒歩約10分 ④香梅堂 買物約20分 ↗ 徒歩約2分	⑤鹿六 食事約1時間 ↓ 徒歩約5分 ⑥佐藤春夫記念館 見学約40分 ↓ 徒歩約10分 ⑦本廣寺 見学約20分 ↓ 徒歩約5分 ⑧仲氷店 休憩約30分 ↓ 徒歩約10分 ⑨中上健次資料収集室 見学約40分 ↓ 徒歩約10分 終点 JR新宮駅
--	--

 O43 法燈国師(覚心)が創建した名刹興国寺 ～笹山寺味噌と虚無僧と天狗～ 鎌倉幕府の三代目将軍の菩提を弔う寺院とそこに伝わる天狗伝説。古代より続く歴史ロマンを紐解く旅へ。	 O37 日本料理の“味の原点” 醤油の故郷を訪ねて 料理に不可欠な醤油醸造発祥の地湯浅を中心に、醤油の起源や金山寺味噌との関係を探る。	 O30 酒をテーマに旅する、「川上酒」のふるさと 江戸中期より「川上酒」の里として知られた伊都地域。そのルーツを探るべく老舗蔵や、ゆかりの神社へ。	 O23 文化財の宝庫 高野山 壇上伽藍の建物や仏像、霊宝館にも多数の宝物が収蔵されている文化財の宝庫・高野山を訪ねる。
 O44 建武中興の立役者！ 護良親王の足跡をたどる 後醍醐天皇の皇子で、鎌倉幕府倒幕のキーマンといわれる悲劇の人物・護良親王の足跡をたどる。	 O38 「花の下(はなのもと)」の号を受けた希代の連歌師、宗祇法師誕生の地 放浪三大詩人のひとりとして知られる、室町時代の最高峰の連歌師・宗祇法師生誕の地を訪ねる。	 O31 柿田荘の痕跡をたどる 社会・日本史の教科書でも取り上げられる荘園・柿田荘をたどり、その風流かつ雄大な山川の風景を訪ねる。	 O24 高野山 奥之院参道と戦国武将 諸大名の供養塔をはじめとする20万基を超える墓碑が建ち並ぶ高野山。その深遠な景観を体感する。
 O45 秀吉の紀州攻めでも衰えぬ厚き信仰心!! 湯川氏ゆかりの寺内町 御坊市の由来となった名刹・本願寺日高別院。和歌山一の商業地として栄えた寺内町の面影を訪ねて。	 O39 多くの江戸っ子の舌を唸らせた紀州みかんのルーツをたどる 江戸時代から450年もの歴史がある紀州みかんが今も愛される理由を、当時の史跡や資料から紐解く。	 O32 木食応其と秀吉と橋本の町 安土桃山時代に幾多の功績を残した僧侶、応其。現在の橋本市の繁栄につながる氏の足跡を巡る。	 O25 高野山 奥之院御廟～1200年間続く弘法大師空海の食事～ 今なお瞑想を続ける弘法大師空海。1日2回、御膳を運ぶ儀式「生身供」を通じて厚い信仰心を実感。
 O46 鯉節発祥の地・印南。 漁民3人衆の功績を訪ねる 鯉節の発祥地とされる印南町。鯉節製造に功績を遺した、印南漁民3人衆ゆかりの地を巡る。	 O40 稲むらの火の舞台～濱口梧陵が守った広川町から防災を学ぶ～ 江戸時代に津波から人々を救った濱口梧陵。彼の功績と、今も広川町に受け継がれる防災対策を学ぶ。	 O33 “日本一の兵” 赤備えの軍を率いた 真田幸村 朱色の武具を身につけた軍団「赤備え」を率いた、真田一族に関わる史跡でその名声の偉大さに触れる。	 O26 高野街道 ～高野山へ至る折りの道～ 1200年を超えて、信仰を集める霊場・高野山。いにしえの人々が歩んだその街道の様子を今に知る。
 O47 津波から町を守った！ 津鎮まる島「鹿島」 植田港から10分で行ける無人島、鹿島。押し寄せる津波を割り、みなべの町を守った神が治める島を探検。	 O41 小説『有田川』の舞台。 有吉佐和子が描いた近代 1970年代に活躍した小説家・有吉佐和子の代表作「有田川」に登場する地を巡り、彼女が描いた時代風景に迫る。	 O34 高野山への玄関口として栄えた高野口～世界に誇るパイル織物～ 日本一のパイル織物産地として国内外に名を馳せる高野口。見て歩いて触れて、町の歴史と今を体感。	 O27 犬に導かれ、高野山麓の歴史遺産を巡る旅へ 今も語り継がれる、弘法大師空海を高野山へ導いた犬の伝説にちなんで、高野山麓の歴史遺産を旅する。
 O48 参詣者が1日数万人!? 偉大な念仏行者徳本上人 江戸中期、庶民から将軍、皇族までも魅了した念仏行者の徳本上人。今なお伝説が生きる、生誕の地へ。	 O42 「日本無双」と称えられた道成寺縁起！ 安珍・清姫の悲恋の物語 端正な姿の僧侶と、それに焦がれる女房。激しくも、もの悲しい安珍・清姫のストーリーを追い歩く。	 O36 修行の地 苅藻島(かるもじま)を愛してやまなかった明恵上人 仏教本来の姿を貫く背景にあった釈迦への思慕の念。苅藻島など、明恵上人の修行地を訪ねる。	 O29 高野七弁天を巡る旅 壇上伽藍を囲むように配された七弁天を参拝し、高野山で受け継がれる次世代を見据えた信仰心を知る。

 O18 紀州徳川家の参勤交代と名手本陣 紀州藩主の参勤交代に関わる地を訪ね、徳川御三家の一つに名を連ねた紀州徳川家繁栄の歴史を紐解く。	 O12 日本初の屋外エレベーターも！ 新和歌の浦開発の跡を訪ねて 日本初の屋外エレベーターの設置やトンネルの開通など、明治期に進められた観光開発の足跡と絶景をたどる。	わかやま歴史物語 100のストーリー WEBで公開中の「わかやま歴史物語」全100ストーリーがこちら。 この中から、あなたが気になるストーリーを見つけて、 歴史の舞台をたどる和歌山の旅を楽しんでみてはいかがでしょうか。	
 O19 全国に誇るかんがい用水技術。その遺産を巡って 世界かんがい施設遺産、吉宗の命で整備された小田井用水路の施設を巡り、先人の優れた知恵と技術に触れる。	 O13 紀州生まれの知の巨人・ 南方熊楠の基礎を築いたゆかりの地 日本のダ・ヴィンチとも称される天才学者、南方熊楠。彼の優れた才能を育てた城下町・和歌山市とは。	 006 信長に挑み続けた男・雑賀孫市(鈴木孫一)の合戦の舞台をたどる 信長にひるまず勝利した、雑賀孫市率いる戦国最強の鉄砲集団「雑賀衆」ゆかりの地を訪ねる。	 001 日本最古の英雄譚として知られる「神武東征神話」をたどる旅 ドラマチックな日本建国ストーリー「神武東征神話」。五瀬命が無念の死を遂げた和歌山から始まる「試練」の舞台をたどる。
 O20 世界初！ 麻酔手術の先駆者、 華岡青洲 江戸時代、世界初の全身麻酔手術に成功した医師、華岡青洲。「医聖」と称された偉人の足跡をたどる。	 O14 幻の近代要塞・ 友ヶ島 物語の世界に迷い込んだようなノスタルジックな光景が広がる友ヶ島と、その入り口である加太の町を散策。	 007 築城当時は真っ黒？ 白亜の天守閣和歌山城とその城下町 八代將軍吉宗を生んだ和歌山のシンボル「和歌山城」の歴史をたどり、城下町を巡る旅。	 002 漁師町・加太は修験の入口～「めでたいでんしゃ」に揺られて～ 紀ノ川駅～加太駅を結ぶ南海電鉄「加太線」通称“加太さかな線”に乗って、漁師町・加太を巡る。
 O21 葛城修験と役行者ゆかりの地で折りの歴史に触れる 紀北に点在する葛城修験の聖地。折りの歴史に触れるべく、修験道の行場や役行者ゆかりの地へ。	 O15 “たま電”で三社参り 和歌山電鐵貴志川線沿線の日宮、龜山神社、伊太祁曽神社に詣でに、たま電車で行く旅。	 008 全国に轟く紀州流土木工法！ 池田と井沢弥惣兵衛の遺徳を偲ぶ 土木技術で、全国を水不足から救った井沢弥惣兵衛。数々の大事業を成し遂げた偉業とルーツをたどる。	 003 悲劇の皇子 有間皇子と藤白坂 若くして命を絶たれた有間皇子に思いを馳せつつ、海南市に点在する有間皇子ゆかりの地を訪ねる。
 O22 歴史の宝庫、 大和街道をゆく 万葉から江戸時代まで、人の往来によって歴史の宝庫となった大和街道。さまざまな時代を街道歩きでたどる。	 O17 中世に花開いた一大宗教都市、 根來寺 戦国時代、僧兵集団「根來衆」を擁したことで知られる根來寺。その盛衰の歴史と遺産を探る。	 009 万葉歌人に愛された和歌の聖地 和歌の浦 平安時代から江戸時代まで歴史絵巻を紐解くように巡る和歌の浦。人々に親しまれてきた景勝地を訪ねる。	 004 国内最大規模！ 豪族・紀氏の墓とも伝えられる「岩橋千塚古墳群」へ！ 大陸文化を日本に導入した豪族・紀氏一族が和歌山にもたらしたものは？ 史跡から紀氏を学ぶ。
 O28 随筆家・ 白洲正子も愛した「高天原」 天野の里 白洲正子の足跡を歩いてたどり、彼女が「高天原」や「桃源郷」と称した天野の里の魅力を体感。	 O16 天下の名刹 粉河寺を訪ねて 西国三十三所観音霊場第三番札所粉河寺。境内ほか周辺の遺産を訪ね、天下の名刹たる所以を探る。	 010 絶景の宝庫和歌の浦！ ～藩主も惚れ込んだ和歌の浦の絶景～ 御三家紀州徳川家も愛した風光明媚な和歌の浦。絶景の宝庫でもある景勝地を巡る旅。	 005 紀の国の由来をたどる～伊太祁曽神社と木祭り～ 我が国に樹木を植えて廻った五十猛命を祀る伊太祁曽神社で、紀の国の由来をたどる。

 094 熊野の入口、藤白から続く後鳥羽上皇が愛した峻険な道のり 熊野の入口、藤白神社から藤原定家が「攀じ登る」と記した峠を越え、有田川を渡って湯浅駅までを歩く。	 088 和歌山鉄道物語 ～明治・大正・昭和～ 山口熊野から始まった和歌山の鉄道事業。素朴な紀州鉄道やたま駅長で人気の和歌山電鐵などを巡る。	 082 行きたい街道日本一！ 司馬遼太郎も旅した道・古座街道をゆく 司馬遼太郎「街道をゆく」でも紹介された古座街道。かつて栄えた集落の面影や自然美をたどる旅。	 075 徳川頼宣の懐刀！ 徳川家に忠誠を誓った付家老・安藤直次 紀伊田辺藩初代藩主、安藤直次。家康に仕え忠義を尽くした直次が田辺に残した史跡を訪ね歩く。
 095 美人にまつわる史跡巡り、紀州の海明かりに導かれて 能で知られる道成寺、髪長姫伝説の海女王子、美を授ける塩屋王子等を巡り、光り輝く紀州の海を満喫。	 089 失われた列車に思いを馳せて、2つの廃線跡を巡る 時代の流れとともに廃線となった有田鉄道と野上電気鉄道。2つの廃線跡を歩き、かつての面影を探す。	 083 江戸の経済を支えた紀州廻船～和歌山から江戸へ～ 海上交通の玄関口のスポットを訪ね、江戸期の経済を支えた紀州廻船の重要性を振り返る。	 076 平成の龍神街道～紀州徳川家を癒やした龍神温泉への道～ 空海により開かれたと伝わる龍神温泉。徳川頼宣も愛した名湯への道のりを居城・和歌山城からたどる。
 096 熊野三山の神域の始まり、滝尻王子を越えて 熊野の醍醐味である山深い古道が堪能でき、「乳岩」や「胎内くぐり」など熊野の神々の霊力を感じさせる。		 084 米国と日本の初めての交流！～レイディ・ワシントン号と榎野村の人々～ 黒船より半世紀以上前に来航したアメリカ商船。来航の地、串本町大島で悠久の歴史ロマンに浸る。	 077 和歌山を発展させた徳川頼宣の都市計画と文化継承 22歳で紀州藩を引き継いだ徳川頼宣が成し遂げた和歌山の都市開発。今も残る史跡からその歩みを追う。
 097 雲をつかみ百間を一望する、非日常の旅へ 那智山青岸渡寺の裏手の険しい坂から、小雲取越・大雲取越、雲をつかむような峠道を経て熊野川に出会う。	 090 夏目漱石が歩いた和歌山の軌跡をたどる旅 1911年、講演のために和歌山を訪れた夏目漱石。多数の名作を生み出した文豪が歩いた名所を巡る。	 085 吉田松陰も恐れた！幕末の開明家・国学者水野忠央 文武に優れ、江戸でも恐れられた水野忠央。水野家のお膝元・紀伊新宮藩の城下町でその偉業を振り返る。	 078 日本一の弓術家・和佐大八郎の偉業をたどる 未だ破られることのない前人未到の記録を残した弓道の名手・和佐大八郎。その軌跡を追う。
 098 熊野灘の風景を愛で、石畳道を歩む風光明媚な参詣道～大辺路1～ 草堂寺の石垣の脇道から自然林に囲まれた石畳道の尾根道を歩き、太平洋を望む風光明媚な景観を満喫。	 091 有吉佐和子の代表作、小説『紀ノ川』の舞台を歩く 紀州を舞台とした有吉佐和子の長編小説『紀ノ川』。物語に思いを馳せ、舞台名所と映画ロケ地を巡る。	 086 母性を終生追いつけた彫刻家 保田龍門～母を思う子、子を思う母～ 和歌山が生んだ偉大な彫刻家、保田龍門。和歌山市内のいたるところに残された作品から彼の想いを読み解く。	 079 歌舞伎の女形日本一！芸に生きた芳澤あやめ 江戸時代の伝説的女形、芳澤あやめ。幼くして芸事に通じたその感性を育てた山里へ。
 099 長井坂から熊野灘を望む雄大な参詣道～大辺路2～ 大名が歩いた長井坂への急坂を登り、こんもり土を盛った「版築」の趣にまみえ、木々の合間に枯木灘を望む。	 092 梅と備長炭の意外な関係。美しい景観は共生と循環の証し 南高梅のふるさとで、「日本一の梅の里」と称されるみなべ町・田辺市地域を巡り、五感で梅を楽しむ。		 080 「奇想の画家」長沢芦雪が南紀でみせた目醒めの足跡 応挙の弟子で奇想派の絵師として知られる長沢芦雪。南紀に残る作品から、絵師としての目醒めを紐解く。
 100 往時を偲ばせる石畳と枯木灘の海岸線を歩む参詣道～大辺路3～ 文人墨客が愛でた新田平見道の長く美しい石畳道や、海岸沿いからの景色が美しい富山平見道などの、古道を歩く。	 093 紀州の「妖し」物語 「ゴウラ(河童)」に「牛鬼」に「桂男」…。和歌山各地に伝わる伝説や民話に息づく妖怪の姿を追う。	 087 西洋音楽振興の貢献者「音楽の殿様」徳川頼貞 西洋音楽研究に私財を投じた徳川頼貞の貴重なコレクションが、和歌山県立図書館で一般公開。	 081 生きながらにして神様？「従一位」に叙せられた名君 徳川治宝 紀州歴代藩主の中で最も輝かしい功績を残したといわれる、第10代藩主徳川治宝ゆかりの地を巡る。

 068 330歳まで生きた？伝説のヒーロー 武内宿禰の足跡をたどる 歴代天皇や皇后に仕えたといわれる伝説の人物・武内宿禰。戦前の紙幣に肖像が用いられたことでも知られる。	 062 北山村筏下り～600年の歴史をたどる激流の旅～ 勇壮果敢な「筏師」たちにより、かつて江戸で重宝された北山の木材。その600年の歴史をたどる旅。	 055 本物の禅僧・山本玄峰の足跡を訪ねて 「耐え難きを耐え、忍び難きを忍び」の文言を、時の首相に進言した山本玄峰。昭和の名僧が育った故郷を尋ねて。	 049 海の勇者 ヨハネス・クヌッセン機関長～デンマークと日本の友好の原点～ 異国の青年機関長の決死の救命活動が結んだ、国と国との心の絆。静かな海辺の町の感動秘話を探る。
 069 日本版ハムレット？有間皇子の儚き万葉歌 大化の改新後の悲劇。政略の中、若い命を散らした皇子が眺め詠んだ情景を求めて、白砂青松の海へ。	 063 古式捕鯨 ゆかりの史跡が数多く残る「くじらの町」太地町 古式捕鯨発祥の地であり、鯨とともに生きてきた町、太地。今なお続く、鯨と人の物語を訪ねる。	 056 元々は虚弱体質だった!? 合気道の開祖・植芝盛平 合気道の開祖として知られる植芝盛平翁。その出生地・田辺市を訪れ、奥深い武道の精神に触れる。	 050 青と白で構成された「日本のエーゲ海」。探掘と戦争の記憶が残る白崎海岸 石灰岩の岸壁が青い海に映える白崎海岸。ダイナミックな景色のなかで、近代化と戦争の記憶に出会う。
 070 万葉歌人が愛した紀伊国への旅～紀の川に沿って～ 都から紀伊国へと旅し、多くの歌を詠んだ万葉人。奈良との県境には、飛び越え石という大きな岩石も。	 064 現代も息づく、三輪崎の鯨方の史跡と文化 かつては、太地町と肩を並べるほど捕鯨で賑わった新宮市三輪崎。その史跡と文化をたどる。	 057 「知の巨人」南方熊楠とその研究を支えた熊野の人々 「知の巨人」南方熊楠が35歳で移り住み、晩年までを過ごした南紀一帯。数々の偉業を見つめ直す旅へ。	 051 闘雞神社～源平合戦の運命が託された鶏～ 壇ノ浦の戦いの勝敗を左右した「鶏合わせ」の舞台へ。一大勢力を誇った熊野水軍の栄枯を偲ぶ。
 071 万葉歌人が愛した紀伊国への旅～紀伊の海に沿って～ 紀伊国の歌が多く残る『万葉集』。海沿いの道を旅した万葉歌人の道のりと各地で詠んだ心に響く歌をたどる。	 065 日本とトルコの友好の原点～エルトゥールル号の遭難～ 榎野崎でトルコの軍艦エルトゥールル号が遭難した際、村人が救護したことにより生まれた日本とトルコの絆をたどる。	 058 天津神御子の試練 神武東征神話！神武天皇と天磐盾と熊野灘 神武東征の道のりの中でも、数多くの試練を乗り越えた熊野の地。悠久の神話ロマンに思いを馳せる。	 052 万葉の偉人たちが憧れた日本最古の湯 白浜温泉 万葉人も訪れたという日本三古湯のひとつ白浜温泉。温泉地に今も残る偉人の足跡をたどる。
 072 大陰陽師・安倍晴明 紀南に残された伝承の地 伝説の陰陽師・安倍晴明は和歌山へ訪れていたのか？各地に残るミステリアスな伝承を求めて紀南へ。	 066 那智の大自然に夢中？ 粘菌採集に明け暮れた南方熊楠の熊野滞在 天才学者、南方熊楠は英国から帰国後熊野に長期滞在。山に分け入って粘菌などの調査に没頭した地を巡る。	 059 徐福伝説～不老不死を求めて～ 秦の始皇帝の命で不老不死の仙薬を探す旅に出た徐福が、たどり着いた新宮の地で残した伝説を追う。	 053 妖しく、そして悲しき「道成寺物」安珍・清姫の悲恋の物語 「道成寺物」として知られる安珍・清姫の物語。悲恋の始まりの地・田辺市で、清姫の想いに心を重ねる。
 073 諸国行脚の歌人 西行が歌い歩いた道を行く 武家出身でありながら、突如出家し諸国を行脚しながら和歌を詠んだ西行。彼のルーツと足跡をたどる。	 067 城下町新宮に息づく、世界レベルの「文化のDNA」 佐藤春夫、中上健次、西村伊作、川上白らを輩出した新宮の文化土壌を実感し、街歩きを楽しむ。	 060 捕陀落渡海～南海の果ての捕陀落浄土を目指して～ 南海の向こうに観音の浄土「捕陀落山」があると信じ、小舟で大海原に出た捕陀落渡海のドラマに触れる。	
 074 「小栗判官」伝説が静かに息づく 蘇りの聖地を訪ねて 「小栗判官」復活の地・湯の峰温泉には伝説を物語る史跡が点在。小栗の息遣いを感じる旅。	 061 北山の地から捲土重来を目指した 護良親王 鎌倉幕府の追及を逃れ熊野の地へやって来た護良親王が、土豪の竹原八郎に迎えられ再起を図る物語。	 054 源義経にも仕えた 武蔵坊弁慶の故郷 田辺市 天下の豪傑として知られる武蔵坊弁慶。幼少期を過ごした田辺市内を巡り、弁慶伝説のルーツに迫る。	

和歌山アクセスガイド

access map

鉄道路線図 & 高速道路



電車 (JR) でのアクセス

From名古屋 名古屋駅(新幹線)→新大阪駅(特急列車)→和歌山駅(約2時間10分)
名古屋駅(特急列車)→紀伊勝浦駅(約3時間40分)

From大阪 新大阪駅(特急列車)→和歌山駅(約1時間)
大阪駅(紀州路快速)→和歌山駅(約1時間30分)

新大阪駅から南紀方面へ

新大阪駅(特急列車)
→御坊駅(約2時間)
→白浜駅(約2時間40分)
→串本駅(約3時間20分)
→紀伊勝浦駅(約4時間)

*掲載の所要時間等はすべて目安です。

「わかやま歴史物語」WEBサイトのご紹介

神話の時代から近代に至るまで、県内各地に点在する歴史を「100の旅モデル」としてまとめました。旅モデルの詳細に関しては、「わかやま歴史物語」特設サイトをご覧ください。

<http://wakayama-rekishih100.jp>

わかやま歴史物語 検索



この冊子の掲載価格は、8%の税込価格で記載しています。

和歌山県観光ホームページ

<http://www.wakayama-kanko.or.jp>

和歌山県観光情報 検索

